

◆社会人基礎力 分析シートについて◆

「社会人基礎力 分析シート」は、まつやま活性化コンテストに参加する過程において、どのような行動や学習をしたのか、活動終了時にお知らせするものです。社会人基礎力の12の能力要素に照らした強み・弱みの自己評価・他者評価、その成長の記録、チームでの役割や成果などをまとめます。

学生の皆様、このシートを、今後の更なる成長に向けて何を行うべきかを考える材料の一つとして、ぜひご活用ください。
企業の皆様、このシートを学生への理解を深め、今後のキャリアパスを考える材料の一つとして、ぜひご活用ください。

社会人基礎力とは

社会人基礎力とは、職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事をしていくために必要な基礎的な力として、経済産業省が定義した3つの能力、12の要素のことをいいます。(下表参照)

評価とは

今回の活動の中で、学生が、「いつ、どんな状況で、どのような努力や工夫することにより発揮したか」という行動事実を記録し、以下の基準に照らして、評価を実施します。

- レベル1: 発揮できなかった。
- レベル2: 通常状況では発揮できた。
- レベル3: 通常状況で効果的に発揮できた。
- レベル4: 困難な状況でも発揮できた。

分類	能力要素	定義	発揮できた例
(前に踏み出す力)	主体性	物事に進んで取り組む力	自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。 自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自信を持って取り組むことができる。 自分なりに判断し、他者に流されず行動できる。
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	相手を納得させるために、協力することの必然性(意義、理由、内容など)を伝えることができる。 状況に応じて効果的に巻き込むための手段を活用することができる。 周囲の人を動かして目標を達成するパワーを持って働きかけている。
	実行力	目的を設定し確実に実行する力	小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる。 失敗を怖れずに、とにかくやってみようとする果敢さを持って、取り組むことができる。 強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる。
(考える力)	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにし準備する力	成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握できる。 現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる。 課題を明らかにするために、他者の意見を積極的に求めている。
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てられる。 常に計画と進捗状況の違いに留意することができる。 進捗状況や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる。
	創造力	新しい価値を生み出す力	複数のもの(もの、考え方、技術等)を組み合わせ、新しいものを作り出すことができる。 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができる。 成功イメージを常に意識しながら、新しいものを生み出すためのヒントを探している。
(チームで働く力)	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝えることができる。 聞き手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができる。 話そうとすることを自分なりに十分に理解して伝えている。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解することができる。 相槌や共感等により、相手に話しやすい状況を作ることができる。 相手の話を素直に聞くことができる。
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	自分の意見を持ちながら、他人の良い意見も共感を持って受け入れることができる。 相手がなぜそう考えるかを、相手の気持ちになって理解することができる。 立場の異なる相手の背景や事情を理解することができる。
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる。 自分にできること・他人ができることを的確に判断して行動することができる。 周囲の人の状況(人間関係、忙しさ等)に配慮して、良い方向へ向かうよう行動することができる。
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力	相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している。 相手に迷惑をかけたとき、適切な行動を取ることができる。 規律や礼儀が特に求められる場面では、粗相のないように正しくふるまうことができる。
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力	ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除くことができる。 他人に相談したり、別のことに取組んだりする等により、ストレスを一時的に緩和できる。 ストレスを感じることは一過性、または当然のことと考え、重く受け止めすぎないようにしている。